



梅雨期、台風シーズンを前に、今できる備え

命を守る避難

防災情報の意味を直感的に理解し、それぞれの状況に応じて避難できるように、災害発生の危険度と私たちが取るべき行動は、5段階の「警戒レベル」で発表されます。自分の、そして大切な人の命を守るためには、避難する意識と行動が必要不可欠です。

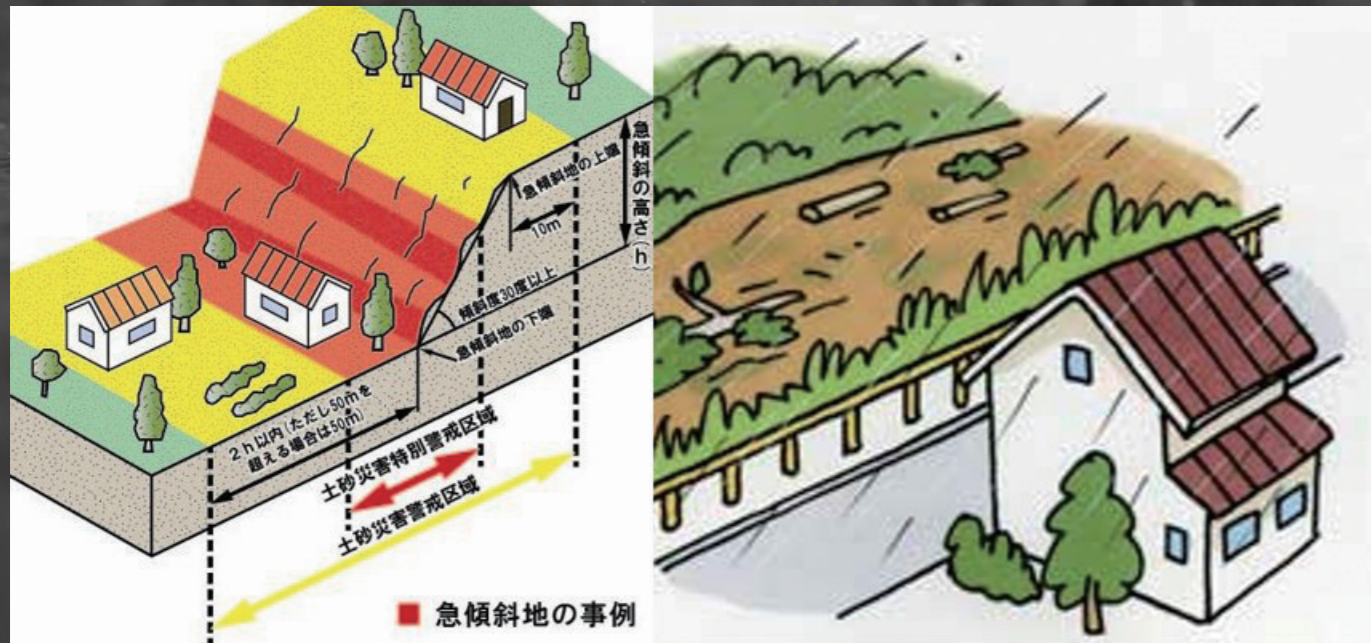
『避難行動』の第一歩は、『日頃の備え』から！

令和元年に発生した台風十九号では、関東・東北の広い範囲で九十名を超える犠牲者と莫大な被害が発生しました。気象庁は、大雨による重大な被害が発生する可能性が高まっていることをマスコミ等を通じて広く伝えており、また、各自治体からも適時に避難勧告等が発表されたにも関わらず、自宅に留まったなどの理由で多くの方々が亡くなりました。


政府は災害発生の危険度と行政から発表される避難勧告等とを結び付け、住民が直感的に避難行動の必要性を感じとれるようにしました。「自分の命は自分で守る」意識と自らの判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援するという方針に転換したのです。

温暖化により日本の年間降水量の増加は確実です。今まで増水に耐えた河川堤防や崩れたことのない山や崖も、「今年も大丈夫」とは言えません。ハザードマップによる災害リスクの確認や、非常持出品の準備など、『日頃の備え』が自分自身に早めの避難行動を決心させる最も大切な防災です。

警戒レベルと避難の情報	住民に求められる行動	注意事項等
警戒レベル5 災害発生情報	命を守る行動	必ず発表されるわけではありません。
警戒レベル4 避難指示(緊急)	命を守る行動	必ず発表されるわけではありません。
警戒レベル4 避難勧告	安全な場所へ避難開始	指定された地域の方は、この時点で必ず避難してください。
警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間のかかる高齢者や障害者及び付添者は避難開始	自宅周辺に危険を感じる方はこの時点で自主避難をしてください。
警戒レベル2	災害リスクの再確認	町のハザードマップ等を再確認
警戒レベル1	防災に関する心構えを一段上げる。	以後の気象情報に注意



錦江町指定避難所一覧表 (13カ所)

大根占小体育館	池田小体育館	田代開発センター
錦江中体育館	池田地区体育館	花瀬でんしろう館
町総合交流センター	宿利原小体育館	大原小体育館
神川小体育館	宿利原地区体育館	 町内の避難所 左QRコード
神川地区体育館	田代保健福祉センター	

町では、左表のとおり13カ所の指定避難所を設定しています。避難所を開設するときは、防災行政無線や町ホームページなどでお知らせしますので、早めの避難をお願いします。また、避難するときは食べ物や飲み物、着替え、タオルなどの必要なものは各自で準備してください。

【COVID-19】避難所での新型コロナウイルス対策

- 新型コロナウイルス 避難所での新型コロナ対策として主に次のことを実施します
- 1 避難所内の過密を避けるため、安全な場所にある親戚や知人宅を利用できる方は、そちらへの避難をお願いします。
 - 2 可能な限り多くの避難所を開設し、分散して避難して頂くことにより「3密」を予防します。
 - 3 避難所入り口で検温と体調確認を行い、手指の消毒をお願いします。
 - 4 避難所内においてもマスクの着用とパーソナルディスタンスの確保をお願いします、手洗い、咳エチケット等に対応していただきます。
 - 5 可能な限り通気を行い、避難所内での感染拡大を防止します。

こんな場所にお住いの方、気を付けてください！

☎ 総務課 ☎ 22-0511